

Q0001

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント1：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

次の説明に最も合う用語はどれか。命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

- A. キャッシュメモリ
- B. ページフォールト
- C. 冗長化
- D. CPU

答え・解説

Q0001 正答：D. CPU

解説：CPUは、命令を解釈し演算や制御を行う処理装置。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0002

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント2：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

CPUの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- B. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- C. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象
- D. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

答え・解説

Q0002 正答：A. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

解説：CPUの要点は「命令を解釈し演算や制御を行う処理装置」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0003

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント3：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「CPU」である。

- A. キャッシュメモリ：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- B. CPU：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- C. ページフォールト：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- D. 冗長化：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

答え・解説

Q0003 正答：B. CPU：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

解説：正しい組合せは「CPU：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0004

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント4：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

「CPU」は、命令を解釈し演算や制御を行う処理装置。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：○

解説：正しい。CPUは命令を解釈し演算や制御を行う処理装置。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0005

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント5：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

組織が「命令を解釈し演算や制御を行う処理装置」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. キャッシュメモリ
- B. ページフォールト
- C. 冗長化
- D. CPU

答え・解説

Q0005 正答：D. CPU

解説：この目的に対応するのはCPUである。命令を解釈し演算や制御を行う処理装置という機能・考え方を持つためである。

Q0006

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント6：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

「CPU」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- B. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること
- C. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象
- D. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

答え・解説

Q0006 正答：A. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

解説：CPUは命令を解釈し演算や制御を行う処理装置。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0007

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント7：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

「CPU」は、CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0007 正答：×

解説：誤り。記述はキャッシュメモリの説明である。CPUは命令を解釈し演算や制御を行う処理装置。

Q0008

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント8：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

次の状況で中心となる論点はどれか。「命令を解釈し演算や制御を行う処理装置」ことが求められている。

- A. ページフォールト
- B. 冗長化
- C. CPU
- D. キャッシュメモリ

答え・解説

Q0008 正答：C. CPU

解説：中心となる論点はCPUである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0009

コンピュータシステム

タグ：CPU

用語：CPUの確認ポイント9：命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

「命令を解釈し演算や制御を行う処理装置」という特徴を持つものを選べ。

- A. 冗長化
- B. ページフォールト
- C. キャッシュメモリ
- D. CPU

答え・解説

Q0009 正答：D. CPU

解説：CPUが該当する。定義は命令を解釈し演算や制御を行う処理装置であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0010

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント1：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

次の説明に最も合う用語はどれか。CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

- A. キャッシュメモリ
- B. 仮想記憶
- C. RAID1
- D. 割込み

答え・解説

Q0010 正答：A. キャッシュメモリ

解説：キャッシュメモリは、CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0011

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント2：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

キャッシュメモリの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- B. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- C. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- D. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

答え・解説

Q0011 正答：B. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

解説：キャッシュメモリの要点は「CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0012

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント3：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「キャッシュメモリ」である。

- A. 仮想記憶：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- B. RAID1：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- C. キャッシュメモリ：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- D. 割込み：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

答え・解説

Q0012 正答：C. キャッシュメモリ：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

解説：正しい組合せは「キャッシュメモリ：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0013

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント4：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

「キャッシュメモリ」は、CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0013 正答：○

解説：正しい。キャッシュメモリはCPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0014

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント5：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

組織が「CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. キャッシュメモリ

B. 仮想記憶

C. RAID1

D. 割込み

答え・解説

Q0014 正答：A. キャッシュメモリ

解説：この目的に対応するのはキャッシュメモリである。CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置という機能・考え方を持つためである。

Q0015

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント6：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

「キャッシュメモリ」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- B. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- C. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- D. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

答え・解説

Q0015 正答：B. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

解説：キャッシュメモリはCPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0016

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント7：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

「キャッシュメモリ」は、補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：誤り。記述は仮想記憶の説明である。キャッシュメモリはCPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置。

Q0017

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント8：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

次の状況で中心となる論点はどれか。「CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置」ことが求められている。

- A. RAID1
- B. 割込み
- C. 仮想記憶
- D. キャッシュメモリ

答え・解説

Q0017 正答：D. キャッシュメモリ

解説：中心となる論点はキャッシュメモリである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0018

コンピュータシステム

タグ：キャッシュメモリ

用語：キャッシュメモリの確認ポイント9：CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

「CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置」という特徴を持つものを選べ。

- A. キャッシュメモリ
- B. 割込み
- C. RAID1
- D. 仮想記憶

答え・解説

Q0018 正答：A. キャッシュメモリ

解説：キャッシュメモリが該当する。定義はCPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0019

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント1：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

次の説明に最も合う用語はどれか。補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

- A. ページフォールト
- B. 仮想記憶
- C. スループット
- D. パイプライン

答え・解説

Q0019 正答：B. 仮想記憶

解説：仮想記憶は、補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0020

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント2：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

仮想記憶の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象
- B. 単位時間当たりに処理できる仕事量
- C. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- D. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

答え・解説

Q0020 正答：C. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

解説：仮想記憶の要点は「補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0021

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント3：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「仮想記憶」である。

- A. ページフォルト：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- B. スループット：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- C. パイプライン：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- D. 仮想記憶：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

答え・解説

Q0021 正答：D. 仮想記憶：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

解説：正しい組合せは「仮想記憶：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0022

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント4：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

「仮想記憶」は、補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：○

解説：正しい。仮想記憶は補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0023

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント5：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

組織が「補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. ページフォールト
- B. 仮想記憶
- C. スループット
- D. パイプライン

答え・解説

Q0023 正答：B. 仮想記憶

解説：この目的に対応するのは仮想記憶である。補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式という機能・考え方を持つためである。

Q0024

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント6：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

「仮想記憶」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- B. 単位時間当たりに処理できる仕事量
- C. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- D. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

答え・解説

Q0024 正答：C. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

解説：仮想記憶は補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0025

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント7：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

「仮想記憶」は、参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0025 正答：×

解説：誤り。記述はページフォールトの説明である。仮想記憶は補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式。

Q0026

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント8：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

次の状況で中心となる論点はどれか。「補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式」ことが求められている。

A. 仮想記憶

B. スループット

C. パイプライン

D. ページフォールト

答え・解説

Q0026 正答：A. 仮想記憶

解説：中心となる論点は仮想記憶である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0027

コンピュータシステム

タグ：仮想記憶

用語：仮想記憶の確認ポイント9：補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

「補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式」という特徴を持つものを選べ。

- A. パイプライン
- B. 仮想記憶
- C. スループット
- D. ページフォールト

答え・解説

Q0027 正答：B. 仮想記憶

解説：仮想記憶が該当する。定義は補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0028

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント1：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

次の説明に最も合う用語はどれか。参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

- A. RAID1
- B. 稼働率
- C. ページフォールト
- D. CPU

答え・解説

Q0028 正答：C. ページフォールト

解説：ページフォールトは、参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0029

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント2：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

ページフォールトの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- B. システムが利用可能である時間の割合
- C. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- D. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

答え・解説

Q0029 正答：D. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

解説：ページフォールトの要点は「参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0030

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント3：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「ページフォールト」である。

- A. ページフォールト：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象
- B. RAID1：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象
- C. 稼働率：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象
- D. CPU：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

答え・解説

Q0030 正答：A. ページフォールト：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

解説：正しい組合せは「ページフォールト：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0031

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント4：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

「ページフォールト」は、参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0031 正答：○

解説：正しい。ページフォールトは参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0032

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント5：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

組織が「参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

A. RAID1

B. 稼働率

C. ページフォールト

D. CPU

答え・解説

Q0032 正答：C. ページフォールト

解説：この目的に対応するのはページフォールトである。参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象という機能・考え方を持つためである。

Q0033

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント6：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

「ページフォールト」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- B. システムが利用可能である時間の割合
- C. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- D. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

答え・解説

Q0033 正答：D. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

解説：ページフォールトは参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0034

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント7：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

「ページフォールト」は、同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：誤り。記述はRAID1の説明である。ページフォールトは参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象。

Q0035

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント8：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

次の状況で中心となる論点はどれか。「参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象」ことが求められている。

- A. 稼働率
- B. ページフォールト
- C. CPU
- D. RAID1

答え・解説

Q0035 正答：B. ページフォールト

解説：中心となる論点はページフォールトである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0036

コンピュータシステム

タグ：ページフォールト

用語：ページフォールトの確認ポイント9：参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

「参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象」という特徴を持つものを選び。

- A. CPU
- B. 稼働率
- C. ページフォールト
- D. RAID1

答え・解説

Q0036 正答：C. ページフォールト

解説：ページフォールトが該当する。定義は参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0037

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント1：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

次の説明に最も合う用語はどれか。同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

- A. スループット
- B. 冗長化
- C. キャッシュメモリ
- D. RAID1

答え・解説

Q0037 正答：D. RAID1

解説：RAID1は、同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0038

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント2：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

RAID1の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- B. 単位時間当たりに処理できる仕事量
- C. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること
- D. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置

答え・解説

Q0038 正答：A. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

解説：RAID1の要点は「同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0039

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント3：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「RAID1」である。

- A. スループット：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- B. RAID1：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- C. 冗長化：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- D. キャッシュメモリ：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

答え・解説

Q0039 正答：B. RAID1：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

解説：正しい組合せは「RAID1：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0040

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント4：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

「RAID1」は、同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：○

解説：正しい。RAID1は同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0041

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント5：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

組織が「同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. スループット
- B. 冗長化
- C. キャッシュメモリ
- D. RAID1

答え・解説

Q0041 正答：D. RAID1

解説：この目的に対応するのはRAID1である。同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式という機能・考え方を持つためである。

Q0042

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント6：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

「RAID1」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- B. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- C. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること
- D. 単位時間当たりに処理できる仕事量

答え・解説

Q0042 正答：A. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

解説：RAID1は同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0043

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント7：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

「RAID1」は、単位時間あたりに処理できる仕事量。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0043 正答：×

解説：誤り。記述はスループットの説明である。RAID1は同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式。

Q0044

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント8：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

次の状況で中心となる論点はどれか。「同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式」ことが求められている。

- A. 冗長化
- B. キャッシュメモリ
- C. RAID1
- D. スループット

答え・解説

Q0044 正答：C. RAID1

解説：中心となる論点はRAID1である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0045

コンピュータシステム

タグ：RAID1

用語：RAID1の確認ポイント9：同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式

「同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式」という特徴を持つものを選び。

- A. キャッシュメモリ
- B. 冗長化
- C. スループット
- D. RAID1

答え・解説

Q0045 正答：D. RAID1

解説：RAID1が該当する。定義は同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0046

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント1：単位時間あたりに処理できる仕事量

次の説明に最も合う用語はどれか。単位時間あたりに処理できる仕事量

- A. スループット
- B. 稼働率
- C. 割込み
- D. 仮想記憶

答え・解説

Q0046 正答：A. スループット

解説：スループットは、単位時間あたりに処理できる仕事量。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0047

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント2：単位時間あたりに処理できる仕事量

スループットの説明として最も適切なものはどれか。

- A. システムが利用可能である時間の割合
- B. 単位時間あたりに処理できる仕事量
- C. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- D. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式

答え・解説

Q0047 正答：B. 単位時間あたりに処理できる仕事量

解説：スループットの要点は「単位時間あたりに処理できる仕事量」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0048

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント3：単位時間あたりに処理できる仕事量

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「スループット」である。

- A. 稼働率：単位時間あたりに処理できる仕事量
- B. 割込み：単位時間あたりに処理できる仕事量
- C. スループット：単位時間あたりに処理できる仕事量
- D. 仮想記憶：単位時間あたりに処理できる仕事量

答え・解説

Q0048 正答：C. スループット：単位時間あたりに処理できる仕事量

解説：正しい組合せは「スループット：単位時間あたりに処理できる仕事量」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0049

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント4：単位時間あたりに処理できる仕事量

「スループット」は、単位時間あたりに処理できる仕事量。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0049 正答：○

解説：正しい。スループットは単位時間あたりに処理できる仕事量。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0050

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント5：単位時間あたりに処理できる仕事量

組織が「単位時間あたりに処理できる仕事量」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. スループット
- B. 稼働率
- C. 割込み
- D. 仮想記憶

答え・解説

Q0050 正答：A. スループット

解説：この目的に対応するのはスループットである。単位時間あたりに処理できる仕事量という機能・考え方を持つためである。

Q0051

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント6：単位時間あたりに処理できる仕事量

「スループット」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- B. 単位時間あたりに処理できる仕事量
- C. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- D. システムが利用可能である時間の割合

答え・解説

Q0051 正答：B. 単位時間あたりに処理できる仕事量

解説：スループットは単位時間あたりに処理できる仕事量。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0052

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント7：単位時間あたりに処理できる仕事量

「スループット」は、システムが利用可能である時間の割合。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：誤り。記述は稼働率の説明である。スループットは単位時間あたりに処理できる仕事量。

Q0053

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント8：単位時間あたりに処理できる仕事量

次の状況で中心となる論点はどれか。「単位時間あたりに処理できる仕事量」ことが求められている。

- A. 割込み
- B. 仮想記憶
- C. 稼働率
- D. スループット

答え・解説

Q0053 正答：D. スループット

解説：中心となる論点はスループットである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0054

コンピュータシステム

タグ：スループット

用語：スループットの確認ポイント9：単位時間あたりに処理できる仕事量

「単位時間あたりに処理できる仕事量」という特徴を持つものを選べ。

- A. スループット
- B. 仮想記憶
- C. 割込み
- D. 稼働率

答え・解説

Q0054 正答：A. スループット

解説：スループットが該当する。定義は単位時間あたりに処理できる仕事量であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0055

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント1：システムが利用可能である時間の割合

次の説明に最も合う用語はどれか。システムが利用可能である時間の割合

- A. 冗長化
- B. 稼働率
- C. パイプライン
- D. ページフォールト

答え・解説

Q0055 正答：B. 稼働率

解説：稼働率は、システムが利用可能である時間の割合。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0056

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント2：システムが利用可能である時間の割合

稼働率の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること
- B. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- C. システムが利用可能である時間の割合
- D. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象

答え・解説

Q0056 正答：C. システムが利用可能である時間の割合

解説：稼働率の要点は「システムが利用可能である時間の割合」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0057

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント3：システムが利用可能である時間の割合

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「稼働率」である。

- A. 冗長化：システムが利用可能である時間の割合
- B. パイプライン：システムが利用可能である時間の割合
- C. ページフォールト：システムが利用可能である時間の割合
- D. 稼働率：システムが利用可能である時間の割合

答え・解説

Q0057 正答：D. 稼働率：システムが利用可能である時間の割合

解説：正しい組合せは「稼働率：システムが利用可能である時間の割合」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0058

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント4：システムが利用可能である時間の割合

「稼働率」は、システムが利用可能である時間の割合。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：○

解説：正しい。稼働率はシステムが利用可能である時間の割合。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0059

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント5：システムが利用可能である時間の割合

組織が「システムが利用可能である時間の割合」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 冗長化
- B. 稼働率
- C. パイプライン
- D. ページフォールト

答え・解説

Q0059 正答：B. 稼働率

解説：この目的に対応するのは稼働率である。システムが利用可能である時間の割合という機能・考え方を持つためである。

Q0060

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント6：システムが利用可能である時間の割合

「稼働率」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 参照ページが主記憶にないため補助記憶から読み込む事象
- B. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- C. システムが利用可能である時間の割合
- D. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

答え・解説

Q0060 正答：C. システムが利用可能である時間の割合

解説：稼働率はシステムが利用可能である時間の割合。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0061

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント7：システムが利用可能である時間の割合

「稼働率」は、同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0061 正答：×

解説：誤り。記述は冗長化の説明である。稼働率はシステムが利用可能である時間の割合。

Q0062

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント8：システムが利用可能である時間の割合

次の状況で中心となる論点はどれか。「システムが利用可能である時間の割合」ことが求められている。

A. 稼働率

B. パイプライン

C. ページフォールト

D. 冗長化

答え・解説

Q0062 正答：A. 稼働率

解説：中心となる論点は稼働率である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0063

コンピュータシステム

タグ：稼働率

用語：稼働率の確認ポイント9：システムが利用可能である時間の割合

「システムが利用可能である時間の割合」という特徴を持つものを選び。

- A. ページフォルト
- B. 稼働率
- C. パイプライン
- D. 冗長化

答え・解説

Q0063 正答：B. 稼働率

解説：稼働率が該当する。定義はシステムが利用可能である時間の割合であり、他の候補とは機能が異なる。

Q0064

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント1：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

次の説明に最も合う用語はどれか。同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

- A. 割込み
- B. CPU
- C. 冗長化
- D. RAID1

答え・解説

Q0064 正答：C. 冗長化

解説：冗長化は、同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0065

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント2：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

冗長化の説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- B. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- C. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- D. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

答え・解説

Q0065 正答：D. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

解説：冗長化の要点は「同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0066

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント3：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「冗長化」である。

- A. 冗長化：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること
- B. 割込み：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること
- C. CPU：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること
- D. RAID1：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

答え・解説

Q0066 正答：A. 冗長化：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

解説：正しい組合せは「冗長化：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0067

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント4：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

「冗長化」は、同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0067 正答：○

解説：正しい。冗長化は同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0068

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント5：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

組織が「同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. 割込み
- B. CPU
- C. 冗長化
- D. RAID1

答え・解説

Q0068 正答：C. 冗長化

解説：この目的に対応するのは冗長化である。同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすることという機能・考え方を持つためである。

Q0069

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント6：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

「冗長化」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 同じデータを複数ディスクへ記録するミラーリング方式
- B. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- C. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- D. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

答え・解説

Q0069 正答：D. 同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

解説：冗長化は同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0070

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント7：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

「冗長化」は、実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：誤り。記述は割込みの説明である。冗長化は同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること。

Q0071

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント8：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

次の状況で中心となる論点はどれか。「同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること」ことが求められている。

- A. CPU
- B. 冗長化
- C. RAID1
- D. 割込み

答え・解説

Q0071 正答：B. 冗長化

解説：中心となる論点は冗長化である。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0072

コンピュータシステム

タグ：冗長化

用語：冗長化の確認ポイント9：同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること

「同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすること」という特徴を持つものを選べ。

- A. RAID1
- B. CPU
- C. 冗長化
- D. 割込み

答え・解説

Q0072 正答：C. 冗長化

解説：冗長化が該当する。定義は同じ機能を複数用意して故障時にも継続できるようにすることであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0073

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント1：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

次の説明に最も合う用語はどれか。実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

- A. パイプライン
- B. キャッシュメモリ
- C. スループット
- D. 割込み

答え・解説

Q0073 正答：D. 割込み

解説：割込みは、実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0074

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント2：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

割込みの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- B. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- C. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- D. 単位時間あたりに処理できる仕事量

答え・解説

Q0074 正答：A. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

解説：割込みの要点は「実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0075

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント3：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「割込み」である。

- A. パイプライン：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- B. 割込み：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- C. キャッシュメモリ：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- D. スループット：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

答え・解説

Q0075 正答：B. 割込み：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

解説：正しい組合せは「割込み：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0076

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント4：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

「割込み」は、実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：○

解説：正しい。割込みは実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0077

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント5：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

組織が「実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. パイプライン
- B. キャッシュメモリ
- C. スループット
- D. 割込み

答え・解説

Q0077 正答：D. 割込み

解説：この目的に対応するのは割込みである。実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組みという機能・考え方を持つためである。

Q0078

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント6：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

「割込み」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み
- B. 単位時間当たりに処理できる仕事量
- C. CPUと主記憶の速度差を緩和する高速な記憶装置
- D. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

答え・解説

Q0078 正答：A. 実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

解説：割込みは実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0079

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント7：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

「割込み」は、命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式。

A. ○

B. ×

答え・解説

Q0079 正答：×

解説：誤り。記述はパイプラインの説明である。割込みは実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み。

Q0080

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント8：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

次の状況で中心となる論点はどれか。「実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み」ことが求められている。

A. キャッシュメモリ

B. スループット

C. 割込み

D. パイプライン

答え・解説

Q0080 正答：C. 割込み

解説：中心となる論点は割込みである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0081

コンピュータシステム

タグ：割込み

用語：割込みの確認ポイント9：実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み

「**実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組み**」という特徴を持つものを選び。

- A. スループット
- B. キャッシュメモリ
- C. パイプライン
- D. 割込み

答え・解説

Q0081 正答：D. 割込み

解説：割込みが該当する。定義は実行中の処理を一時中断して優先すべき処理へ移る仕組みであり、他の候補とは機能が異なる。

Q0082

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント1：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

次の説明に最も合う用語はどれか。命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

- A. パイプライン
- B. CPU
- C. 仮想記憶
- D. 稼働率

答え・解説

Q0082 正答：A. パイプライン

解説：パイプラインは、命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式。ほかの選択肢は目的又は適用場面が異なる。

Q0083

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント2：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

パイプラインの説明として最も適切なものはどれか。

- A. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置
- B. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- C. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- D. システムが利用可能である時間の割合

答え・解説

Q0083 正答：B. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

解説：パイプラインの要点は「命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式」である。名称が似た概念でも、対象とする処理や目的を区別する。

Q0084

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント3：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

用語と説明の組合せとして適切なものはどれか。論点は「パイプライン」である。

- A. CPU：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- B. 仮想記憶：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- C. パイプライン：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- D. 稼働率：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

答え・解説

Q0084 正答：C. パイプライン：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

解説：正しい組合せは「パイプライン：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式」。用語だけでなく、何を守り、何を処理する概念かを確認する。

Q0085

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント4：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

「パイプライン」は、命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0085 正答：○

解説：正しい。パイプラインは命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式。実務では対象、目的、前提条件を併せて確認する。

Q0086

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント5：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

組織が「命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式」ために採用すべき概念又は仕組みはどれか。

- A. パイプライン
- B. CPU
- C. 仮想記憶
- D. 稼働率

答え・解説

Q0086 正答：A. パイプライン

解説：この目的に対応するのはパイプラインである。命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式という機能・考え方を持つためである。

Q0087

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント6：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

「パイプライン」について、誤解を避けるための説明として最も適切なものはどれか。

- A. システムが利用可能である時間の割合
- B. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式
- C. 補助記憶を利用して主記憶より大きな論理アドレス空間を提供する方式
- D. 命令を解釈し演算や制御を行う処理装置

答え・解説

Q0087 正答：B. 命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

解説：パイプラインは命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式。似た用語との違いは、対象、時点、責任又は処理方法にある。

Q0088

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント7：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

「パイプライン」は、命令を解釈し演算や制御を行う処理装置。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：誤り。記述はCPUの説明である。パイプラインは命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式。

Q0089

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント8：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

次の状況で中心となる論点はどれか。「命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式」ことが求められている。

- A. 仮想記憶
- B. 稼働率
- C. CPU
- D. パイプライン

答え・解説

Q0089 正答：D. パイプライン

解説：中心となる論点はパイプラインである。判断では、説明中の目的語と処理の方向を手掛かりにする。

Q0090

コンピュータシステム

タグ：パイプライン

用語：パイプラインの確認ポイント9：命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式

「命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式」という特徴を持つものを選べ。

- A. パイプライン
- B. 稼働率
- C. 仮想記憶
- D. CPU

答え・解説

Q0090 正答：A. パイプライン

解説：パイプラインが該当する。定義は命令処理の各段階を重ね合わせて実行効率を高める方式であり、他の候補とは機能が異なる。